



「皆様のためにしっかりとした紅葉を用意しておきました。」そんな挨拶がぴったりだった。

松本ロゲイニング 2014 Autumn Stage
2014年11月1日 長野県松本市

結果		
家族		
1	ROCK 小隊	1160 点
2	丸ノ内 SC	837 点
3	CASSO	805 点
混合		
1	横浜 OL クラブ B	1420 点
2	げんまん	1309 点
3	コタロー	1287 点
女子		
1	チームつくしまめ	942 点
2	チームいきいき	807 点
3	SENJYO	706 点
男子		
1	飛騨山岳会	1162 点
2	飯島兄弟	1067 点
3	辻の湯会	1048 点
女子ソロ		
1	大崎真美	1332 点
2	服部早苗	1295 点
3	神石明子	1154 点
男子ソロ		
1	武居健司	1461 点
2	石川幸一	1349 点
3	小林二郎	1144 点

国宝・松本城よりスタート

紅葉が妖しげなまでに美しい、国宝・松本城天守閣の前から、スタートの合図とともに参加者 100 名は一斉に散って行った。暖かい雨が時折落ちてくる中、しっかりと城下街に散らばった 30 か所のコントロール目指して、参加者は四方に散って行った。

もはや定番

松本ロゲイニングは早くも 5 回目を迎えた。1 年に 2 回のペースで開催しているので、関係者からしてみればもはや定番行事である。今回は最初の開催地の松本城に戻ってきた。

もともと松本ロゲイニングは「国宝・松本城をスタートにしたロゲイニングをやってみよう」と思う筆者・木村の野望から始まった事業である。スポーツツーリズムを具現化させたこのイベントは、今や本観光コンベンション協会や松本市が主催者となった。

参加者にとっても、もはや定番行事で、固定ファンもいる。今回会場の都合で募集枠が 100 名だった。エントリー締切の二週間前に予定の 100 名に達した。

O-map は見易い

松本市街地周辺で行うロゲイニング競技で使う地図は ISOM (国際オリエン

テーリング地図基準) に準じている。縮尺 1:15,000、等高線間隔 10m、通行可能度なし。・・・つまり 1980 年ごろの標準的な 0-map 表記を使っている。国土地理院発行の 1:25,000 地図を使うことの多いロゲイニングにおいて、この仕様すら特殊な地図となっている。だが、松本においてはこの仕様の地図が役立っている。

市街地において、国土地理院 1:25,000 地図というのは、やや粗く城下街の迷路が魅力的に描かれていない。市町村の発行する都市計画図は細かすぎて余計な情報が多すぎる。0-map はその点走るのに必要十分な情報が記載されている。城下町の迷路も見事に描き切っているし、それでいてすっきりと読みやすい。城下街たる松本を最大限に楽しめるツールが 0-map なのだ。0-map を使用することが、松本ロゲイニングが他のシティロゲイニング大会にない特徴であるし、魅力に繋がっている。

オリエンテーリングだけの世界にいれば 0-map のありがたみを感じることも少ないが、ロゲイニングの世界に入ると、0-map の凄さが判るのだ。オリエンテーリングの歴史 100 年の中で改良を続けてきた地図表現手段の伝統と歴史を感じる時でもあった。

(木村佳司)